

令和2年7月5日～7日の梅雨前線豪雨の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

令和2年7月7日

【速報推計】

梅雨前線豪雨の影響により、安岐ダム流域では7月5日18時から雨が降り始め、7日5時までに累計170mmの降雨があり、5時47分には洪水流入量50m³/sに達したため洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、7日6時30分には最大流入量の105.3m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は47.2m³/sであり、ダムに流れ込んだ水量の約55%にあたる、58.1m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、7日9時15分には洪水量の50m³/s以下となり洪水調節を終了しました。

総雨量は、248mm(5日18時～7日9時)で、最大時間雨量は、46mm/h(7日6時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(瀬戸田地点)において、河川水位を約0.5m低減させたと推測しています。



※上記写真は今回の状況ではありません

問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

担当:山田、山村、藤崎

大分県 国東土木事務所

電話 (0978)72-1321

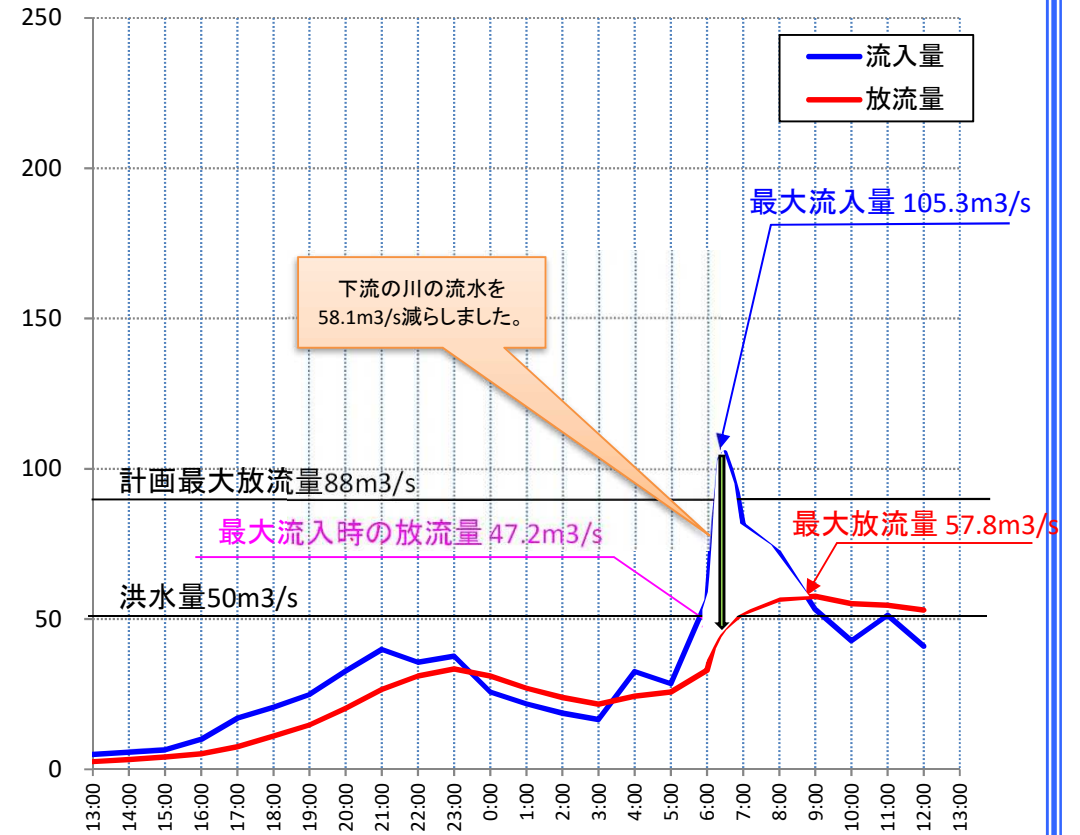
担当:山口、樋口、米村

令和2年7月5日～7日の梅雨前線豪雨の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

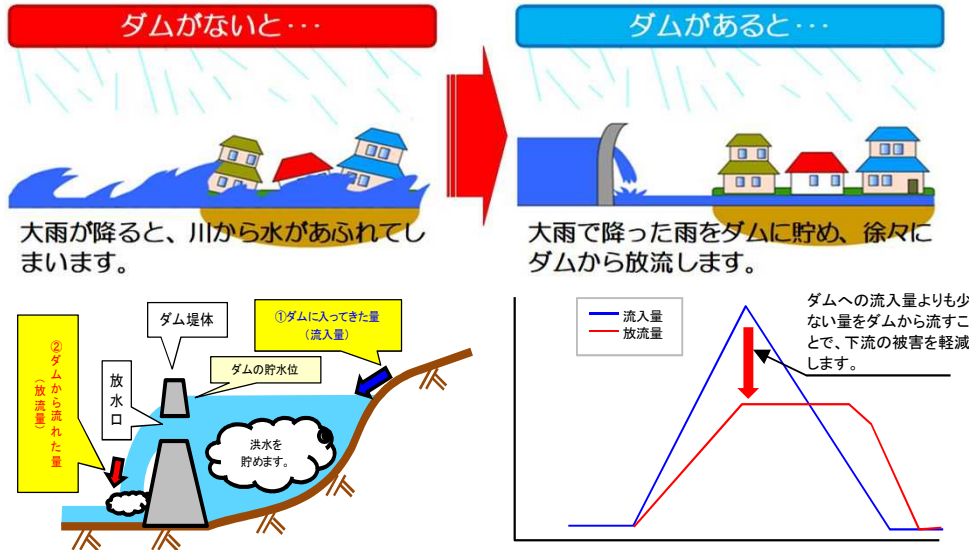
【安岐ダム位置図】



【洪水調節実績図(速報値)】



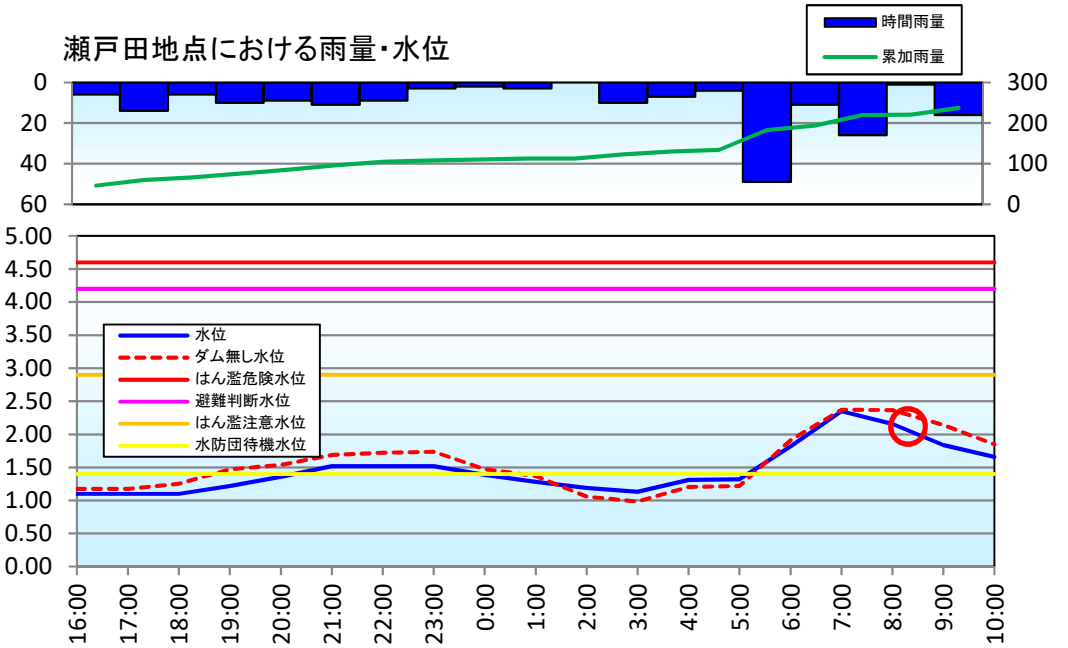
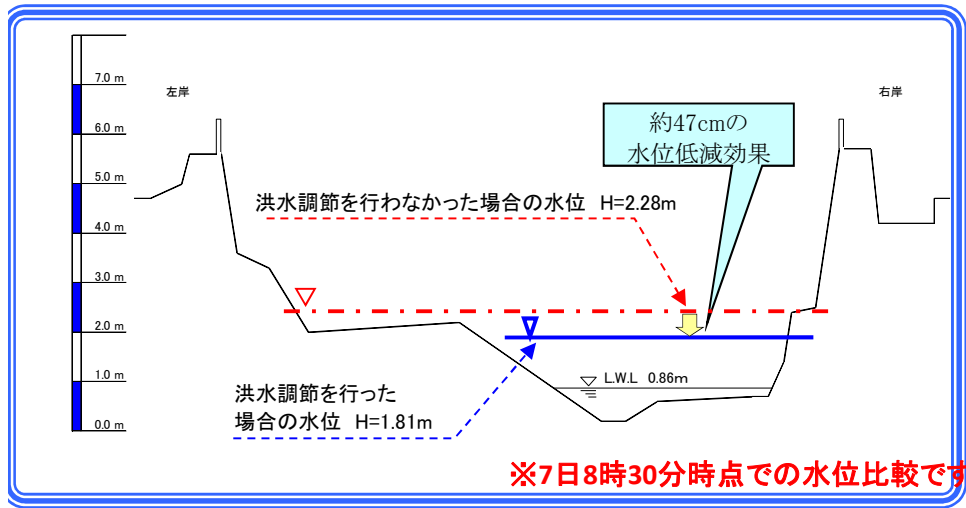
【ダムの治水効果】



最大流入量 105.3m³/sのうち47.2m³/sを下流に流し、58.1m³/sをダムに貯めました。

令和2年7月5日～7日の梅雨前線豪雨の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

【 国東市安岐町 瀬戸田地点の河川水位比較 】



(ダム無し水位はおおよその推定です。)



平常時



出水時